

Egg Wall エッグウォールシリーズ 施工マニュアル

1. 下地調整

壁紙施工の基本は下地処理にあり、下地処理によって仕上がりの良し悪しが決まります。一般的な注意点は必ず守り、平滑に下地調整を行ってください。下地別の注意点、施工方法を詳述しますので遵守してください。

a) プラスターボード下地

準備の第一段階として、まず下地のチェックを行います。下地である石膏ボードの下地が堅固で動かないか、目違いや又ジョイント部分に下地受け材（横胴縁、間柱）縦ジョイント部の受け材等が正確に継ぎ目に位置しているか、下地の凹凸がないかを確認する。平滑な仕上げを求めめるためにも非常に重要な確認作業です。その後、目地部分、ネジ部分に丁寧にパテ打ちを行い、不陸の無いようにサンダーがけを行ってください。ネジ・釘等には必ず錆び止め処理をしてください。**なお、下地が透けるのを防ぐためボードの色に合わせたパテをご使用ください。例えば、ハイクリンボード（ピンク色）には同系色のハイクリンパテ SP 等。**

b) ベニア下地

上記プラスターボードの処理の要領で行ってください。薄いベニア下地の場合は反りやジョイントが動くことを事前に防止してから施工してください。また、必ずアク止めシーラー処理を行ってください。

c) ケイカル板、ALC、モルタル下地

糊が下地に急激に吸われたり、アクなどが発生する場合がありますので、それぞれの下地にふさわしいシーラー処理を必ず行ってください。また、下地材メーカーの施工要領を順守してください。

d) リフォーム下地

以前に貼っていた壁紙の裏紙などが浮き上がってこない様に十分にシーラー処理を行ってください。また、コンクリート、モルタル下地にも十分なシーラー処理を行ってください。

また、リフォームの下地では痛みや見えない下地の影響などによるトラブルも発生しますので、十分に確認をしてから施工を行ってください。

2. 製品情報

幅 95 cm、長さ 40m(エッグウォールは 30m) ロール状、有効幅 92 cm ※商品到着後数週間以内に施工してください。また、本商品が水に濡れたり、直射日光に長時間あてたりすると、変質する可能性がありますのでご注意ください。

3. 施工方法

a) 接着剤（糊）の選定

Egg wall は、卵の殻の表層と紙の二重構造となっています。卵の殻と紙共に通気性がありますので、**弊社推奨のウォールボンド工業（株）「ウォールボンド 100」 tel0276-88-2681 をご使用ください。**

（自然素材にこだわる方には弊社で販売している「貼れ晴れ」を推奨します）

※糊については、各メーカーのマニュアルに沿って使用して下さい。「グルー S」など、その他の糊を使用する場合には必ずご相談ください。

b) 糊付け、オープンタイム

この壁紙は、透湿性があり乾燥が早いので、アイハギが発生することがあります。ご注意ください。糊付けの後は、折りじわのないように、大きく丸くたたみ、折って重ね置きしないでください。特にエッグパルプは折りたたむ際、粒子が落ちない様留意してください。**オープンタイムは糊付け後 10 ～ 30 分が目安です。気候状況に応じて調整してください。**

4. 貼り付け

エッグウォールの裏の矢印の方向を隣同士反対に貼る「リバーズ貼り」をお奨めしています。

a) 常に刃先の鋭いカッターをご使用ください。（こまめに刃を替えるようにしてください）

b) クロス表面は、強くこすると卵殻が落ち、ジョイントが目立つ場合がありますので、なで付け、ローラーがけは丁寧に行ってください。（**白豚毛の撫でブラシとスモーカーの併用をお奨めします。黒毛は使わないで下さい。**）

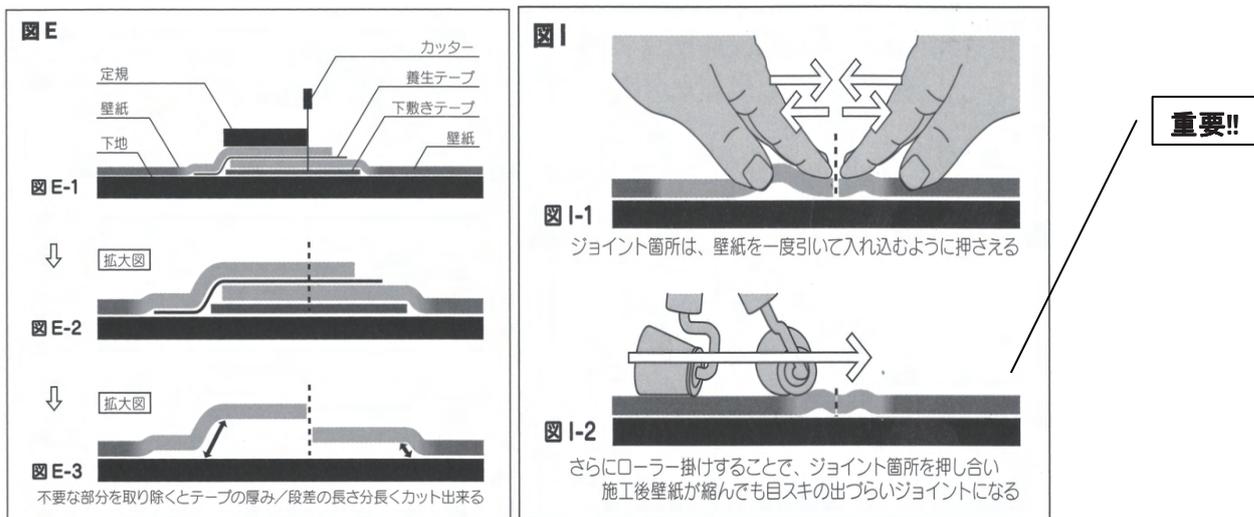
c) 横に強く引っ張りながら貼り付けを行うと、ジョイントの目すきの原因となりますのでご注意ください。

Egg Wall エッグウォールシリーズ 施工マニュアル

d) 突きつけ施工と重ね貼りについて

(図：ウォールボンド工業(株)より)

Egg wall の貼り付けについては、施工後の目地隙を避けるため石膏ボードに切れ目が入らないようにテープの強度の強い下敷き（ステンステープ等）をした「重ね切り施工」を推奨しております。



●ジョイント重ね貼りの場合

本製品は表面が固く、必ず上記のような強度の強い下敷きを入れてカットしてください。またカットの際は地べらではなく定規（桃山など）を使用して下さい。

●突きつけ施工について 当社としてはあくまで目隙防止のため、上記の重ね切りによる施工を推奨しております。

注意事項

- ・表面が硬いので取り扱いの際には手を擦ったりしないよう十分注意してください。
- ・ローラーを強くかけすぎないでください。その際当て紙をしてはみ出た糊が表面につかないようにしてください。
- ・パテの選定については下地の色に近いものを使用してください。（白色のものは避けてください）
- ・なでつけ、エア抜きは確実にやり、ジョイント部の処理は丁寧に行ってください。
- ・壁紙を貼り終えた後の急激な乾燥は目地すきの原因となりますのでご注意ください。
- ・天井とのとりあい等については汚れ防止のためビニールテープ等で養生してから貼り付けてください。

5. メンテナンス方法

a) 雨水や汚れが付着した場合

きれいな水を含ませたタオルで優しく叩いて落とし、自然乾燥で乾かしてください。

b) 表面にカビが発生した場合

きれいな水を含ませたタオルで優しく叩いて落とし、自然乾燥で乾かしてください。

1回で落ちない場合、何度か繰り返してください。それでも直らない場合は、下地からの影響が考えられます。

c) 表面が破れてしまった場合

破れた部分にヤマト糊などをつけて貼りなおしてください。大きく破れた場合は、工事店様へご相談ください。

d) 目地隙が生じてしまった場合

メンテナンス用に補修用セットを用意しております。弊社までご相談ください。

※エッグウォールシリーズは湿気を吸収する性質を持っているので、手垢や汚れなど、一般的なビニールクロスに比べて落としにくい場合がございます。

※エッグウォールシリーズの粒子の中に黒色等の色の違う粒子が混ざることがありますが、製品の異常ではございません。

※施工時、及び施工後糊が完全乾燥するまでに、気温が5℃以下になる場合には施工しないでください。

